

早稲田大学の学部生のみなさんへ

大学院経済学研究科では、

高度化した経済学の各専門分野、ならびに他の隣接学問領域を包含して発展する国際政治経済学の諸分野で貢献できる研究者の育成と並んで、グローバル化・情報化の発展した時代において国内外の政治経済問題に対応できる具体的政策提言・実施・評価能力を備えた人材の育成を行うことを目的としています。

○研究者を志す人には、

経済学の研究者として必要不可欠な理論を修士課程の早い段階で身につけ、博士後期課程進学後も明確なテーマをもって着実に研究成果を上げていけるよう、確固たる基盤づくりを行ないます。

○5年一貫博士プログラムについて

5年一貫博士プログラムでは「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「ゲーム理論」「経済数学」「計量経済学」「政治経済学」に関する標準的な幅広い知識と、入学から5年以内の博士号取得を可能とするための各種サポートを提供します。経済学の理論と応用に渡る幅広い素養を持った、社会のニーズに応え得る柔軟性の高い研究者の育成を目指します。

○高度職業人を志す人には、

経済学をより深く学ぶなかで身につけた論理的思考力とともに、研究科で修得したデータ分析のスキルを駆使して経済事象を分析し、現代の諸問題に対して、時代のニーズに即した解決策を導き出すことのできる人材を育むことを目指します。

2015年4月入学修士課程推薦入学試験1次募集

出願期間：2014年4月18日（金）～4月24日（木）

出願資格、出願書類等の詳細については、当研究科の推薦入学試験要項をご確認ください。

《大学院経済学研究科ホームページ 推薦入学試験》

<http://www.waseda-pse.jp/gse/jp/admission/literature/#4>

<大学院経済学研究科の特徴>

基礎理論から応用・専門へと展開されたカリキュラム

大学院経済学研究科では、コースワークの充実に力を入れています。ミクロ経済学、マクロ経済学、および経済データ分析に関する科目の履修を必修とし、経済理論に裏付けられた厳密な思考能力および実社会でも即戦力となるようなデータ分析能力を身につけるためのカリキュラムを提供しています。

ニーズの高い幅広い研究分野を提供

近年ニーズの高い研究分野に着目し、修士課程経済学コースの中に環境経済学、公共政策、医療経済学といった新たな専門分野が追加されました。既存の研究領域（経済理論、統計・計量分析、経済史、経済政策、公共政策、国際経済）もさらに充実させ、他にはない幅広いテーマでの研究に対応しています。また、大学院政治学研究科との共同運営する国際政治経済学コースや、大学院政治学研究科ジャーナリズムと連携した経済ジャーナリズムコースなど、政治経済学術院の強みを活かした新しい教育体系の構築にも取り組んでいます。

政治経済学部をはじめ早稲田大学からの内部進学

政治経済学部から内部進学してくる学生の場合、早期修了制度を活用すれば、学部3年卒業制度の適用を受けられれば最短で、大学入学から大学院の博士後期課程修了までわずか6年で修了することも可能です。早稲田大学政治経済学部出身者以外の方でも、優れた研究業績を上げることで、修士課程・博士後期課程あわせて最短3年間で博士学位を取得することが可能です。

《修士課程推薦入学試験説明会》

2014年4月8日（火）12:10～13:00 9号館5階大会議室